

THE SERVICE CLUB OF THE Y.M.C.A

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'SMEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF ITO

“ TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT ”

標語(国際) = Motto “ 強い義務感を持つと 義務はすべての権利に伴う ”

会長主題 【すべては一つ】 “ We are all one ”

会長：榎本 博 直前会長：杉本隆夫 次期会長：飯島唯志 A副会長：梅原敬二 B副会長：山田光彦 C副会長：堀崎龍夫
書記：内山雅裕 副書記：正木 薫 会計：佐藤 諭 幹事：佐藤 諭 稲葉富士憲・牛田俊夫



CHARTERED
OCT. 4. 1976

国際会長: Wichian Boonmapajorn (タイ)
“Mission with Faith”
アジア会長: Edward K.W.Ong (シンガポール)
“Through Love Serve”
東日本区理事: 渡 辺 隆 (甲府クラブ)
“原点に立って、未来へステップ”
富士山部部长: 久保田康正 (伊東クラブ)
“みんなで参加! みんなで奉仕!”

2015

9

40th
Anniversary

今月の聖句

神を愛してその戒めを行えば、それによってわたしたちは、神の子たちを愛していることを知るのである。神を愛するとは、すなわち、その戒めを守ることである。
そして、その戒めはむずかしいものではない。

ヨハネの第1の手紙 第5章 第2節～第3節



YMCA 青少年キャンプ教室開催

9月例会プログラム 第469回

日 時...9月 14日(月)18:30~21:00
会 場...暖香園 ル・オール会議室
受 付...飯田 進君
司 会...正木 薫君

- ・点 鐘
- ・開会の言葉
- ・ワイズの信条
- ・ワイズソング
- ・会長挨拶
- ・ゲスト・ビジター紹介
- ・書記報告
- ・誕生・結婚祝
- ・食事(食前の感謝)
- ・スマイル
- ・委員会報告
- ・卓話
- ・私のコーナー
- ・出席率・スマイル報告
- ・閉会の言葉
- ・点 鐘

会長 榎本 博君
堀崎龍夫君
菅野政典君
一 同
会長 榎本 博君
会長 榎本 博君
書記 内山雅裕君
親睦委員会
稲葉富士憲君
親睦委員会
各委員会
大和田浩二先生
山田光彦君
担当委員会
勝又秀仁君
会長 榎本 博君

Congratulations !

9月お誕生日

5日 杉本隆夫君
10日 安藤真範君
28日 飯田 進君

メネット

4日 飯田恵利子さん
16日 梅原富江さん
29日 稲葉敦子さん

7月結婚記念日

該当者なし

例会日時: 毎月第2月曜日 18:30~21:00 例会場: 伊東暖香園ル・オール会議室 TEL: 0557-37-0011

クラブ事務所: 〒414-0033 静岡県伊東市馬場町1丁目1番2号(YMCA伊東センター) TEL: 0557-36-2442



2015 年キャンプ教室



納涼(長野)例会に
誘われて

YMCA 青少年事業委員会 委員長 稲葉富士憲

プロ・ドラ委員長 牛田俊夫

午前 7 時 40 分、YMCA センター到着。すでに何人かのメンバーの姿が見える。野村 Y's のトラックの到着と同時に、資材の積み込み開始。デジャブのようないつもの光景。一瞬、永遠に続くキャンプ教室のイメージが浮かぶ。

高く上った太陽が容赦なく照り付け、期待に胸を膨らませた大勢の子供たちが、受付の前に集まる。お金を受け取り、名札を渡すメンバー。開村式。汗だくになってテント張りを手伝うだれか。じゃがいもの皮むき。刻んだ玉ねぎに流れる涙。大きなずんどうの中で煮え立つカレー。キャンプファイヤー。子供たちの笑顔。今はいないメンバーも現役メンバーも一緒になってキャンプ場を動き回っている。2 日間が過ぎると、キャンプ教室に参加したことを忘れ、翌日にはまた同じことを繰り返す。永遠に続く夏、永遠に終わらないキャンプ教室。それも楽しいかもしれない。

現実の世界では 2015 年 8 月 8 日、9 日はあっという間にすぎ、翌日には仕事。事故もなく、子供たちの楽しかった、という声が耳に残るだけ。僕たちワイズメンズクラブのメンバーはもう何年も同じことを繰り返してきた。記憶の中

で、過去と現在が入り混じってしまうのは、当然のことかもしれない。子供たちはどうだろう。この夏のキャンプ教室を、楽しい思い出として胸に刻めただろうか。大人になったとき、幸せな子供時代の一コマとして、思い出してくれるだろうか。思い出してくれるなら、僕たちはその風景の一部として、何十年も生き続けるだろう。そうなることを切に願う。

結びに、今年度のキャンプ教室を、成功へと導いてくれたメンバー全員に感謝申し上げます。



8 月 19 日 残暑の蒸し暑い中、朝 10 時に榎本会長運転する車で久保田部長、堀口さんと私の 4 人で一路長野クラブの 8 月納涼例会・あずさ部標部長公式訪問の例会に参加するために出発しました。

今回の他クラブ訪問は、久保田部長が日本区(厚木)大会の時に長野クラブ森本会長と標あずさ部長に 8 月に長野クラブで酒蔵での納涼例会があるのでいかがと打診があり、参加となりました。でも、朝 10 時に出て 13 時頃、甲府南 IC を下りおそい昼食となり十割そばを食べる予定が定休日でおそば屋で待たされて旨くないおそばを食べて 2 時間半ぐらいかかり長野のホテルに到着。6 時間ぐらいの長い旅となりました。

さて長野クラブ 8 月納涼例会・標あずさ部長の公式訪問そして入会式とトリプル例会となり、例会場は造り酒蔵の「よしのや北蔵」で定刻少し遅れて森本会長挨拶で始まり、小林義彦君の入会式が標あずさ部長・久保田富士山部長の立会いで厳かに入会式が行われました。続いて納涼ワイズディナーが西の門よしのや酒蔵のレストラン「さくら」にて日本酒での乾杯。季節料理「秋の香」の献立を食し、私は色々な日本酒を堪能しましたが、堀口 Y's はビールを少し飲んで不満足の様子で、榎本会長は日本酒を何種類かためていました。日本酒好きな久保田部長はそこそこ飲んでいました。10 時頃にホテルに帰りぐっすり眠れました。

翌 20 日は早く帰る予定が、善光寺まで歩いて 5 分ぐらいなので参拝しようとなり、朝食後 8 時にホテルを出発し善光寺脇の駐車場に車を止め横から中に入り、国宝善光寺本堂ご参拝・内陣から内々陣に参拝、お戒壇めぐりの入り口より階段を下りご本尊の安置される瑠璃壇下の真っ暗な回廊を通り、中程に掛かる極楽の錠前を探り当てて、秘仏のご本尊と結縁する、後でしおりを読むと右手で腰の高さの壁を伝ってお進み下さいと書いてありました。真っ暗で心配でした。無事に参拝も終わり参道をブラリブラリして乗車、一路伊東に向けて 10 時頃出発。甲府付近で昼食予定が前日の十割そばを食べようとなり、甲府市内を走行中チェーン店のラーメン店を発見!すかさず入りました。焼きトオモロコシが食べたいと榎本会長が甲府南付近で前日帰りに食べたい!を思ひだし探し出し榎本会長はご満悦でした。帰りは順調で 5 時頃には帰りました。参加メンバーご苦労様でした。





「第1回EMCセミナー」に参加して

浦頭 薫

8月31日(月)EMCセミナーが開催されました。田辺委員長よりワイズメンズクラブとはどんな組織なのか？目的やワイズ用語の解説から始まり、伊東クラブはメンバー数減少に伴いクラブの運営(事業活動の運営)に余裕もなく厳しい状況にあるだけに「工夫や合理化などの発想」が必要であるとお話があった後、例会費用の内訳・BF 現金・スマイルがどのように使われていくのか…私が知りたかった事を冗談混じりに説明してくださいました。好奇心旺盛な私は数ある事業/活動に興味津々ですので「まず参加して」今後に生かせればと思っています。EMCの意味さえ分からずに参加したセミナーでしたがワイズの事が少しですが理解できました。2回目以降のセミナーにおいてはドッジボール大会の事やスキー教室の事、大きな事業の歴史や経緯、方針など教えて頂きたいです。今回…1番の収穫は参加したメンバーはワイズが大好きだと思えた事です。^^

【特別寄稿】コースについて

東京江東クラブ 篠田 秀樹

東京江東クラブの篠田秀樹です。理由があって休会中ですが、お許しを頂き寄稿させて頂きます。

私は江東センターのリーダー08です。2007~08年度に関東東部コース事業主査、2008~09年度に東日本区コース事業主任を務めました。が、コースは大変分かりづらくまた難しいと私も思います。

その理由は、

- ①そもそも「コース」という言葉の意味がわかりづらい。(年齢で決まるのか、属性で決まるのか等)
 - ②どういう人たちをコースと呼ぶのか想像できず、どう関わればいいのかわからない。
 - ③身近にコースがいないので接することも少なく実感できない。
 - ④コースに関する事業を行うにしても規模が小さい。継続して行うことが難しい。
- 等でしょうか。

先日開催された第18回東日本区大会で行われた「コースのパネルディスカッション」で、ワイズで取り上げるコースの年齢は15歳~35歳を指すということを確認しました。

この年齢に沿って大雑把に分けていくと、①15~18歳は高校生です。②19歳~22歳は大学生となり、リーダーの世代になります。③23歳~35歳は社会人として新人から中堅までの世代になります。するとワイズの取り上げるコース事業の対象者は主にリーダー、若手社会人ということになります。こう考えると実感が少し湧くのではないのでしょうか。

ワイズがコース事業に積極的に取り組む意味・意義は、

①いつかは自分たちに返ってくる、つまり「情けは人のためならず」的な考えで、「情けはコースのためならず」といったところでしょうか。さりげない会話の中に、ワイズの人生観やコースへの願い、そしてワイズメンズクラブへの熱き思いを散りばめれば良いと思います。そうして信頼関係が出来上がってくると、逆に彼らから新しい考え方を教えられたり、刺激を受けたり、また活動をする上で力仕

事等のマンパワーの協力を得られる、ことに繋がっていくことになります。

②信頼関係ができた後で、コースに「人間力」を磨く機会を提供する。

ここでいう人間力とは、彼らが成長していく過程で身につけて欲しい価値感、考え方、行動力を指します。

ここで人生の先輩であるワイズの積極的な出番です。具体的には「気づき」を提供する行事の開催

です。1つの情報をいろいろな人が聞くと全然違うとらえ方をしていることが多いことに気づきます。

ワイズと一緒に何かやることで気づく、分かり合えることがあります。

③ボランティアの意識が高いコースは結構多いので、ワイズとの協働はやりやすい部分があります。

ボランティアに興味を持つコースは貴重な存在で実に将来有望です。(未来のワイズの可能性)

④理想はコースが参加するだけでなく、コース自ら企画・立案~実施(参加)まで行うようになることです。しかし全部自分たちでできればそれはそれで良いことですが、アドバイスや動員、当日のお手伝い、資金面でのバックアップ等、ワイズが協力できることも数多く残されていると思います。

⑤彼らと接することで、ワイズは「より自分を磨かなければ!」と思うのではないのでしょうか。

他にもコース事業を進める意味や意義はあると思いますが、まずは第一歩を貴クラブで踏み出してみると、別の意味や意義に気づかれるのではないのでしょうか。

ワイズメンズクラブは素晴らしい「大人の学校」だと思います。その学校に入学しようとしている生徒がコース、その先輩、先生がワイズと考えてみて下さい。次代を担う人材を育てバトンタッチしていく、そういうコースの成長の手助けがワイズにはできないのではないのでしょうか。親とは違う、先輩や上司とは違う人生の先輩としてコースとの協働は素晴らしいと思います。

富士山部では多くの「コース事業」が行われています。各クラブの

いろいろなプログラムをきっかけに、コースが関わることができる、参加できるプログラムを見直してみるのが手っ取り早いと思います。

私が考える貴クラブのコース事業の難しさはYMCAのあり方が他部のYMCAと異なる点です。他部のYMCAはスタッフがいて、彼らがセンター運営だけでなく、プログラムを立案~運営、リーダー募集~教育をしています。この点が大きく異なります。スタッフがコースの代表格のリーダーと接することが多いのが特徴です。他部のクラブでは、主任主事が通常ワイズの連絡主事になりますので、ある程度のリーダーの情報や動向がわかりワイズに伝えることができます。こういうメリットがなかなか貴クラブをはじめ富士山部では享受できない点があります。でも見方を変えれば、スタッフを通さず、直接リーダーやコース(参加者)に接する機会が他部のワイズより多いので、これは大きなメリットになります。貴クラブ、貴部の特徴や利点を生かしてコースに接してみてください。

コース事業はなかなかすぐに目に見える成果や結果は出ないものです。小さいことでも良いことであれば、コツコツ続けていくことが大切です。まずは良い関係作りをして下さい。一緒に飲むのもいいですが、まずは協働です。身体を共に動かしながらする会話が一番効果的だと思います。

以上長々と自論を展開して参りまして大変ご無礼致しました。これを機に貴クラブでコースについて話す時間を設けて頂くきっかけになれば幸いです。

9月11日(金)~13日(日)に山中湖キャンプで開催される「コースボランティア・リーダーズフォーラム」にも是非おいで下さい。

このフォーラムはコース事業の代表的なものです。実際にコースの代表格の現役リーダーの澁刺とした活動をご覧になって下さい。きっと何かを感じ取って頂けることと思います。

今回は寄稿の機会を与えて頂きどうもありがとうございました。

末筆ながら貴クラブの益々のご繁栄と会員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げます。

(※本原稿は篠田が休会する前の本年6月に寄稿致しました。)

運営委員会だより

8/8(土)～9(日) — YMCA 青少年委員会/YMCA 伊東センターより
YMCA 青少年キャンプ教室開催 171 名参加
8/15(土)までに
前期区費・部費等納入済み 佐藤会計より
8/19(水)～20(木) — 他クラブ訪問
長野クラブ納涼例会 4 名出席
8/25(火)
伊東市社会福祉協議会第 2 回評議員会
於：伊東市役所 榎本会長出席
ふれあい広場バザーへの献品協力依頼 9/13(日)まで
にセンターへ
8/31(月) — EMC・会員選考・文献管理・会則研究委員会より
新入会員対象とした EMC セミナーを実施
於：暖香園ボウル特別会議室 19:00～ 11 名出席
9/7(月) — YMCA 青少年委員会より
YMCA 青少年キャンプ教室反省会
於：幸華 18:30～ 会費：4,000 円
9/12(土)
ボーイスカウト地区ラリー開催
於：熱海市親水公園 10:00～ 助成金を贈呈
9/27(日) — 富士山部より
第 38 回富士山部部会 於：伊東マリンタウン
登録料 7,000 円 受付：12:00～
第 1 部(部会) 13:00～14:00
第 2 部(懇親会) 15:30～
伊東クラブメンバーは 11:00 集合
9/27(日)
第 34 回伊東市ふれあい広場開催
於：伊東市役所 10:00～14:00

CS・ドッジボール委員会より

今年度ワイズポテト販売は中止

【訃報】

下田クラブ 糸賀元房 Y's が 8/5(水)ご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。

他クラブ訪問記録

8/19(水) 長野 4 名
久保田康正君・榎本博君・牛田俊夫君・堀口正作君

8/26(水) 下田 3 名
飯島唯志君・堀口正作君・牛田俊夫君

例会だより

8/6(木) 18:30 より 8 月例会を開催しました。堀崎 Y's
の司会進行の下、鈴木 Y's によるワイズの信条、続いて榎
本会長の挨拶と続き、ゲスト・ビジターの紹介がされまし
た。内山 Y's の書記報告ののち、親睦委員・浦頭 Y's から誕
生・結婚祝いの報告がされ、同月誕生日を迎えられる野村
Y's よりお礼の言葉が述べられました。その後、稲葉 Y's に
よる食前の感謝、続いて食事が終わり、榎本会長より 9/27
(日)の富士山部部会(会場：伊東マリンタウン)のお知
らせと合わせ、全員登録での呼びかけがありました。
親睦委員・安藤 Y's によるスマイル報告では、歓送迎会、
祭り、富士山部部会、初例会、入会式など次々とざるに吸
い込まれていきました。委員会報告では、稲葉 Y's より青
少年キャンプ教室の全体会合について、鈴木 Y's より青少
年キャンプ場への管理棟完成の報告、11/22(日)伊東クラ
ブ 40 周年記念式典等に関する進捗報告がありました。
また田辺 Y's からは、京都にて開催されたアジア大会の報
告がありました。私のコーナーでは、入会後初となる出番
を頂き、私が金融機関の方と話した市内の観光経済動向な
どまとめりづらく伝わりにくい話をさせていただきました。
。。大変失礼いたしました。
その後、牛田 Y's から出席率 96%、山本 Y's よりスマイル
26 千円の報告があり、梅原 Y's の閉会の言葉、榎本会長の
点鐘で例会は終了しました。
例会終了後、稲葉 Y's より 8/8・9 のキャンプ教室について
の説明会が行われました。

記：正木 薫

9 月例会卓話者

日本 YMCA 同盟研究所所長・東山荘参与 大和田 浩二氏

岡山県津山市出身。
東京 YMCA 入職、山梨 YMCA 主任主事を経て総主事
2010 年 4 月より 2015 年 3 月まで東山荘・研究所所長を
兼務。
現在は山梨県南アルプス市在住。
奥様、二男一女の 5 人家族。
趣味：スキー・山歩き・合唱

第 470 回 10 月例会予告

と き	10 月 12 日(月・祝)
受 付	稲葉富士恵君
司 会	山田光彦君
開会の言葉	浦頭 薫君
ワイズの信条	山本 健君
食前の感謝	梅原敬二君
私のコーナー	堀口正作君
閉会の言葉	齋藤福男君

8 月例会報告

在籍者	24 名	コメント	名
功労会員	名	ゲスト	名
広義会員	名	ビジター	4 名
療養会員	1 名	メーキャップ	名
出席者	21 名	出席者総数	25 名
メネット	名	出席率	91%

前月修正出席率 %

スマイル報告

当月	26000 円	累計	103000 円
Y M C A 基金			
当月	円	累計	円
B F 基金(切手)			
当月	kg	累計	kg
B F 現金			
当月	pt	累計	pt

東日本区・富士山部

9 月 27 日(日)
第 38 回富士山部部会
於：伊東マリンタウン
熱海 YMCA 報告
維持会員募集中